

～古賀院長エッセイ～

次代への風



一人遊び

自粛、外出制限の中で皆さんそれぞれに工夫して過ごされていることと思います。

これまで大勢で楽しんでいたことが制限されると、孤独を感じることもあるかと思います。

手術はチームで行いますが、執刀医は一人ですので、基本的に外科医は孤独です。特に脳神経外科は小さな手術野で顕微鏡を用いて厳しい手術に臨みますので、更に孤独な闘いになり、これに慣れて集中する必要があります。したがって、日頃から孤独に慣れておく必要があります、一人である時間が訓練も兼ねて有意義に過ごすことを心掛けてきました。

一人の時間は結構楽しめるものです。特に五感を使うことを意識して取り組むと、すべての事が生き生きと感じられます。問題があれば悩むのではなく、解決のための作戦を考えたり準備したりします。一人でできることは文科系から運動系まで様々にあり、どれをとっても本職に役に立つことばかりです。

これからの変化する時代に対応できるような、孤独を楽しむ一人遊び上手になりましょう。



院長語録

毎朝の朝礼での一訓をご紹介します。

●新型コロナ問題の渦中……

病院もサービス業的要素を少なからず持つものの、

主は知識や経験に基づいた

「技術というサービス」を提供して病気を治すところにある。